

新型コロナウイルス感染症に関して

緊急事態宣言が解除されても、依然として猛威をふるっている新型コロナウイルス。根室市の状況や取り組みなどについてまとめてみました。

7月29日(水)全国の感染者初の千人超

緊急事態宣言解除後に、東京都で300人を超える感染者が出るなど、新型コロナウイルスは、いまだ猛威をふるっている状況です。7月29日には大阪で221人と過去最多、東京で250人、愛知で167人など、相変わらず大都市圏で増えている一方で、これまでに感染者0を続けていた岩手県でも1人確認されました。

こうした状況にあっても政府は「GOTO」トラベル」を強行。感染者の多い東京都は除かれています。長距離の移動に伴う「GOTO」トラベル」は感染拡大を引き起こす可能性が高いと指摘されています。たしかに、新型コロナウイルスの影響で、宿泊業、観光

業等は大きな痛手を被っています。であれば、政府

は影響を受けている業者に対して、いま以上の手厚い補償を行うべきではないでしょうか。補償は最低限に抑えて「GOTO」トラベル」は強行する。これでは感染は拡大し、業者はますます苦境に立たされるばかりです。「GOTO」トラベル」はただちに中止し、一刻も早い手厚い補償を求めていかなければなりません。

根室市の状況は？
7月27日に行われた第28回根室市新型コロナウイルス感染症対策本部員会議では、市立根室病院におけるPCR検査の状況として、先週(7月18日～24日)の検体数が2件(うち陽性0件)、2月20日からの累計検体数が57件(うち陽性1件)である

ことが報告されました。つまり、市内のコロナ感染者は、現在のところ2月22日に確認された1名(完治)のみで、それ以降陽性者(感染者)は発生していません。

「ウワサ話」に気をつけよう

こうした状況になると、様々な「ウワサ話」が持ち上がり、それはあつという間に広まります。根も葉もない「ウワサ話」は、ときに無関係な人を傷つけてしまします。「ウワサ話」はあくまでもウワサとうけとめ、公的機関の発表をもとに正しい情報を得るようにしましょう。

また、感染の拡大に伴い、マスクの配布や給付金に便乗した詐欺の電話や、商品を勝手に送りつける悪徳商法などが全国で相次いでいるようです。これらについても、正確な情報に基づいて冷静に行動するようにしましょう。不安なとき、わからないときは党議員団にご相談ください。

根室市の取り組みについて

これまで様々な取り組みを行ってきた根室市ですが、これからも、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」や「ふるさと応援基金」などを活用して施策を展開します。

・新生児に対する市独自の特別定額給付金
以前の市議団ニュースでも紹介しましたが、国の特別定額給付金の対象にならなかった4月27日以降来年3月31日までに生まれた(生まれる)新生児にも一律10万円を給付するものです。

・生活困窮世帯に対する支援物資の臨時提供
新型コロナウイルス感染症の影響から休業、失業等により生活困窮に陥った世帯に対し、臨時的に生活物資を支給するものです。1カ月程度の生活維持に要する日常の食料品及び感染対策品が支給されます。

・ひとり親世帯臨時特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得者のひとり親世帯については、子育てに対する負担の増加や収入の減少などにより特に大きな困難が生じています。こうした世帯を支援するため、国の取り組みとして、臨時特別給付金を支給するものです。

その他にも様々な施策があります。「よくわからない」「自分はあてはまるのか」など、疑問のある方は党議員団、または身近の共産党員にお尋ねください。

まだまだ大変な状況は続くようです。油断することなく、うがい手洗いの徹底、マスクの着用など、これまでやってきたことをしっかりと続けましょう。

